総合	第３学年	東広島市立西条小学校	指導者　片岡　恭子

単元名

高台誕生物語
―「新・高台誕生物語」を創ろう―

本単元で育成する資質・能力　課題発見力・追求力・評価力

1　単元のデザイン

本単元の目標

昔の西条小学校の様子を調べることを通して，歴史ある西条小学校へ誇りと愛着をもつとともに，地域の人々の西条小学校への思いに触れ，西条小学校をよりよくしていこうという意欲を高める。

児童について

本学年の児童は，社会科「わたしたちのまちのようす」の学習で町探検を行い，町の土地利用などについて調べ，白地図にまとめた。町探検では，児童は様々な施設や場所に興味をもったが，特に児童の関心が高かったのは，西条駅裏にある「独創」の碑であった。約 60 年前，西条小学校は西条駅の裏にあったということについては，校長先生の話や昨年度の 3 年生の学習発表会での劇などで話題に挙げられたことがある。しかし，町探検でそのことを知っていた児童はわずかであった。

そこで，西条小学校のルーツをたどり，それを多くの人々に伝えることを通して，学校への誇りや愛着を育てることができるよう，本単元を設定した。

本単元で身に付けたい資質や能力及び態度

【課題発見力】
- 西条小や町の様子を昔と今で比較し，その違いから疑問や驚き等をもつ。
- それぞれがもった疑問や驚き等を基に調べたいことや解決したいことを発見する。

【追求力】
- 昔の西条小や町の様子を知りたいという意欲をもち，進んで情報を集める。
- 集めた情報を関連付けて西条小の良さを考えたり，比較して伝える内容を話し合ったりする。
- 西条小の昔の様子を伝えるという目的の実現に向けて，友達と協力する。

【評価力】
- 西条小に対する思いの変容に気付き，自分の成長を自覚する。
- 西条小への愛着を深め，よりよい西条小にしていこうという心情をもつ。

教材について

西条小学校は，明治 41 年，西条駅裏北側の小高い丘に西条尋常高等小学校として建設された。その後，昭和 34 年に旧西条，御薗宇，吉土実，下見の四校が統合し，現在の高台に移転された。現在の校舎は，昭和 63 年に建て替えられたものである。この間，児童数の変動や時代の流れとともに，東西条小学校，御薗宇小学校，三ツ城小学校と分離していった。しかしながら，校舎がかわっても西条独創教育の伝統は今もなお脈々と受け継がれている。

本単元では，長い西条小学校の歴史の中で現在の高台に移転する前後を中心に取り上げる。西条小学校の歴史を知ることは，西条小学校への誇りや愛着を育てることにつながる。また，卒業生の思いや願いを聞くことにより，西条小学校の伝統を受け継ぎ，よりよい学校にしていこうという意欲を高めることにもつながると考える。

指導の手立て

本単元は，三つの小単元で構成する。小単元①では，校区探検で見つけた御建公園内にある「独創」の碑を基に西条小学校の歴史について関心をもたせる。「課題の設定」では，3枚の校舎の写真（駅裏の校舎，旧校舎，現在の校舎）を比較させることにより，調べる時代区分を校舎の様子とともに具体的に理解させる。情報の収集」においては，具体物やＧＴの話等から当時の様子を豊かに想像できるようにする。

小単元②の「課題の設定」では，西条小の歴史の認知度についてアンケートを取り，調べたことを伝える必要感をもたせる。そして，自分達が調べた西条小の歴史を多くの人に伝えるために，どのような内容を劇に入れるのかを，調べた事柄を比較して検討させる。また，劇をPRするパンフレットを作成し，より多くの人に西条小の歴史を知ってもらえるようにする。

小単元③では，地域の方の要望を紹介することにより，劇をよりよいものにしたいという必要感をもたせ，駅裏時代と創立 20 周年ころのエピソードを収集させる。そして，集めた情報を地域の方に喜んでもらえるかという視点で価値付けし，エピソード集にまとめ，メッセージ集と一緒に2年生に贈る。

2　単元の評価規準

資質・能力		評価規準
課題発見力	対象に心を寄せる	①昔の西条小や町の様子を現在の様子と比較し，違いに気付いて疑問や驚きをもっている。 ②アンケートや地域の人の感想から，「調べたことを伝えたい」「よりよい劇にしたい」という意欲や必要感を抱いている。
	課題を発見する	③それぞれがもった昔の西条小への疑問や驚きを比較・分類して課題を設定し，課題解決への意欲をもっている。 ④調べた内容を多くの人々に効果的に伝える方法を考え，学習計画を立てている。
追求力	課題解決に向けて情報を収集する	①昔の西条小や町の様子について知りたいという意欲をもち，資料等から進んで情報を集め，まとめている。
	思いや願いの実現に向けて課題を解決する	②集めた情報を関連付けて，西条小の特長や印象，西条小への人々の思い等を考えている。 ③集めた情報を視点に沿って比較し，劇で伝える内容を考えている。 ④よりよい「高台誕生物語」にするために，さらに情報を集めたり，集めた情報を視点に沿って価値付けたりし，エピソード集にまとめている。
	課題解決のために人とかかわる	⑤調べた内容や西条小への自分達の思いを多くの人々に伝えるという目的を実現するために，友達と協力して活動している。
評価力	自分の学びを振り返る	①西条小への思いの変容に気付き，その要因となった自分の学び方のよさを自覚している。
	対象（地域）の良さを自覚する	②西条小への愛着を深め，よりよい西条小にしていこうという心情をもっている。

3　単元構想図（単元計画と評価）

本単元の学習の流れ（全 52 時間）

〇昔の西条小にタイムスリップ！（22）

課題の設定

- 校区探検をする。（社会科）
- ３枚の校舎の写真から校舎の時代を知る。（１）【課①】
- 校内の昔の物探しを行い，昔の西条小学校についてどんなことを調べたいのかを考え，課題を設定する。（３）【課①③】

情報の収集

- 移転前の西条小の様子と高台への移転の経緯，その頃の西条の町の様子を調べる。（３）【追①】
- 花めぐりスタンプラリーに参加し，地域の方に昔の西条小や西条の町の様子について聞く。（４）【追①】
- 移転後の学校生活の様子や新校舎建設について調べる。（５）【追①】
- ＧＴに来てもらい，移転前後の学校生活の様子や引っ越し作業の様子を聞く。（４）【追①】

整理・分析

- 集めた情報を年代順に整理し，西条小への思いを話し合う。（２）【追②】

独創スピリッツを引き出す工夫

【課題の設定】

- ピラミッドチャートを活用し，校区探検で見つけてきた自分達の興味のあるものの中から序列化し，本年度の総合的な学習の時間に取り上げる対象を決める。（課題発見力）
- 児童が時代区分への意識をもって課題を設定し解決できるよう，校舎の写真の比較を通して，時代を捉えさせる。（課題発見力）
- 校内にある昔のもの探しを行うことにより，昔と現在の学校や町の様子の違いから課題を見付けることができるようにする。（課題発見力）

【情報の収集】

- 児童が当時の様子を豊かに想像しながら追求するよう，写真や校区立体模型，オリジナル資料集等，具体物やＧＴの話から調べることができるようにする。（追求力）

【整理・分析】

- ボックスチャートを活用し，集めた情報のうち心に残った事柄を出させ，それらを関連付けて西条小はどんな学校なのかを考えさせる。（追求力）

○「高台誕生物語」を創ろう(21)

課題の設定

・保護者や全校児童を対象にアンケートを実施し，西条小の昔の様子についての認知度を調べる。（２）【課②】
・自分達が調べてきたことを伝える方法を考え，学習計画を立てる。（２）【課④】

整理・分析

・調べたことの中から，どの内容を劇に入れたらよいか話し合う。（２）【追③】

まとめ・創造・表現

・当時の様子や人物の心情を想像して劇の練習をする。（10）【追⑤】
・今年の高台誕生物語の劇の内容をもとにパンフレットを作る。（３）【追①】

実行

・学習発表会で劇を上演する。（１）【追⑤】

振り返り

・これまでの学習を振り返る。（１）【評①】

【課題の設定】
・保護者や全校児童を対象にアンケートを実施し，対象についてあまり認知されていない現状を浮き彫りにし，課題意識をもたせる。（課題発見力）
・調べた内容を多くの人に伝える方法を考え，座標軸で実現可能で効果的な方法を選択させる。（課題発見力）

【整理・分析】
・情報を比較して考えることができるよう，伝えたい内容をランキング付けさせる。（追求力）

【まとめ・創造・表現】
・毎時間，調べた内容や自分達の思いを伝えることができているかを相互評価させることにより，友達と協力して劇を創り上げているという意識をもたせる。（追求力）
・劇をＰＲするという目的をもたせ，劇の内容を紹介するパンフレットを作成させる。（追求力）

【実行】【振り返り】
・劇を見てくださった方からの感想を聞いてこれまでの学習を振り返ることにより，自己の成長を自覚できるようにする。（評価力）

○「新・高台誕生物語」を創ろう（９）

課題の設定

・劇を見てくださった方から寄せられた感想を読み，来年度に向けてよりよい台本にするための課題を設定する。（１）【課②】

情報の収集

・ＧＴから駅裏時代や創立 20 周年頃のエピソードについてさらに取材する。（２）【追④】

整理・分析

・集めた情報を視点に沿って価値付け，どの情報をエピソード集に入れるのか話し合う。（２）【追④】

本時 47／52

まとめ・創造・表現

・３年１組が台本に加えるとよいと思う情報をエピソード集にまとめる。（２）【追④】
・２年生に向けてメッセージを作成する。（１）【評②】

実行

・２年生にエピソード集とメッセージ集を渡す。（朝の会）

振り返り

・単元の学習をふり返る。（１）【評①②】

【課題の設定】
・劇を見てくださった方からの「他のエピソードを入れてほしい」という要望を聞かせることにより，課題意識を高める。（課題発見力）

【情報の収集】
・「昔の西条小へタイムスリップ！」で招聘したＧＴとは別の方をお招きして取材することにより，多様なエピソードを収集させる。（追求力）

【整理・分析】
・集めた情報を視点に沿って価値付けられるよう，ランキングを活用して話し合わせる。（追求力）

【まとめ・創造・表現】【実行】
・２年生に向けてのメッセージを作成することにより，本単元の学習の価値を自覚させる。（評価力）

【振り返り】
・学び方，自己の考えの変容の観点で単元の学習を振り返らせ，それを交流させることにより，学級としての成長も感じさせる。（評価力）

4　本時の目標

幅広い年代の人々に楽しんでもらえる劇にするために，どのエピソードをエピソード集に入れるとよいのかを考えることができる。

5　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ	1　本時の目的を確認し，課題を設定する。（５分）	全体↓	・「高台誕生物語」をもっと幅広い年代の人々に楽しんでもらえるよう，３年１組のおすすめエピソード集を決め，２年生に紹介することを確認する。
	学習課題　ふるさと西条のよさがいろいろな人に伝わるように，「高台誕生物語」に入れる３年１組のおすすめエピソードを決めよう。		
／ 深め・拡げる	2　エピソード集に入れるとよいエピソードをグループで話し合う。（20 分） 本気で考える児童の姿 **・おじいちゃんおばあちゃんに喜んでもらえるかという視点で自分の考えを積極的に述べたり，相手の話をよく聞いたりしている。**	グループ↓	追求力引き出しポイント 〈活用させる思考スキル：価値付け〉 ・ランキングを用いることにより，集めた情報を価値付ける必然性が生まれるようにする。 ・活動の前に目的を再度確認し，駅裏の校舎に通っていたおじいちゃんおばあちゃんに喜んでもうという視点に照らし合わせて話し合わせる。
	3　グループで話し合ったことを全体で交流する。（10 分） ・ぼく達のグループは，運動会を一番にしました。理由は，遠足は一日だけだけど，運動会はたくさん練習しているから，おじいちゃん達もよく覚えていて懐かしく思ってくれると思ったからです。 ・私達のグループは，遠足を一番にしました。理由は，下見大池で魚つりをするなど楽しそうに活動をしているからです。	全体↓	◇話合いが停滞しているグループには，教師が話合いに参加し，論点を明確にするなどの支援を行う。 ・ランキングを見せながら，発表させることにより，自分たちがどのように考えたのかが聞いている友だちに伝わるようにする。 ・他のグループの考えを聞いて質問や感想を自由に話す場を設ける。
／ まとめ・つなげる	4　どのエピソードを紹介するとよいか自分の考えを書く。（７分） おおむね満足できる児童の状況 ・私は遠足にしていたんだけど○○くん達の話を聞いて，運動会が一番だなと思いました。理由は一年間の行事の中で運動会が一番心に残っているからおじいちゃん達もきっと同じだと思ったからです。	個人↓	・グループや全体の話合いをふまえ，自分はどのエピソードが一番よいと思うかを書かせる。 ◎集めた情報を視点に沿って自分なりの理由をもって価値付けている。（ワークシート）
	5　本時の学習をまとめ，次時につなげる。（３分）	全体	・次時は，３年１組おすすめランキングを決定することを確認する。